

はじめまして、沢辺陽名子です。

私は2023年に44歳で奇跡的に妊娠・出産し、現在男の子を子育て中の一児のママです。私が生まれてすぐに両親は離婚、母方の実家にて祖父母の養女として育てられるところから私のユニークな人生はスタートしました。複雑な家庭環境の中で、時として生きていくことがつらく感じることも多々ありましたが、それでも楽しいと思える日が必ず来ると信じ、ひたすら目の前の状況を客観的に見て、自分なりに分析をし、自分が選んできた人生を受け入れながら生きてきました。どんな試練も自分の人生に必要な経験であり、神様は乗り越えられない試練は与えないと思っています。時間がかかっても必ず乗り越えられるし、その試練をどのように受け止め、どのように乗り越えるかによって自分の器を大きくすることができ、同じような経験に悩む人たちの力になれる自分に成長できると思っています。今では試練が来るたびに、どう乗り越えてみせるかワクワクしてしまうほどです。

そんな私でも絶望に暮れた時期がありました。結婚10年目の39歳のときにスタートした不妊治療でひたすら採卵と移植を頑張り続けた結果、41歳で第

一子を妊娠。幸せな妊婦生活を送っていましたが、妊娠6カ月のときにお腹の中の子に異常が見つかり、羊水検査の結果、18トリソミーという生まれつきの染色体異常を持つて生まれてくることがわかりました。お医者さんからの説明で聞いた生存率の低さに夫婦で愕然としたことを今でも鮮明に覚えています。

でも夫婦ともにポジティブな性格だったため、たくさん話し合いながらお腹の子が無事に生まれてくることを楽しみに待ち望んでいました。ですが、そんな私たちの願いは叶わず、出産予定日を1週間以上すぎた頃、それまでお腹の中で元気に頑張っていた赤ちゃんは出産前日にお腹の中で亡くなり、私は死産を経験することになりました。

夫婦ともに人生で一番の悲しみを経験し、精神的にも不安定な時期でした。それでもお互いを支え合いながらまた二人三脚で不妊治療を頑張り続け、最後と決めた受精卵の移植で奇的に息子を授かることができ、現在に至ります。

私自身がさまざまな経験を通じて「幸せとは何か？」を考えたときに行き着いた結論が、  
“自己肯定感を高く持ち、自分の人生をめいっぱい生きること”でした。人生はいろいろなこ  
とが起こります。大切にしたいのは、どんなときも強くしなやかに、心豊かに生きていくこ  
と。そして他の誰の人生でもない、自分自身の人生をめいっぱい楽しむこと。私の考え方や  
経験から培ってきたことが、この本を手にとってくださった方の人生に少しでもプラスの影  
響を与え、自分の人生をめいっぱい生きるきっかけやヒントとなれば嬉しいです。

この本がどこかの誰かのお役に立てることを願って♡